

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2022
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.123, No.3 (2022. 12)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	松田隆美教授退任記念論文集
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01230003--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

藝文研究 第百二十三号 第三分冊

松田隆美教授 退任記念論文集

目次

- (I) 松田隆美教授 略年譜・研究業績
- (1) 序 原田範行
- (5) 印刷機と羽根ペンと
——中世末期イングランドの印刷所をめぐる書物ネットワーク
徳永聡子
- (19) 中英語方言と世界英語
——方言多様性をめぐる中世と現代の往還 堀田隆一
- (31) エリザベス朝のピューリタン回心体験ナラティブ
——『ロバート・グリーンンの回心』(1592)を巡って 井出新
- (46) サミュエル・ジョンソンの夢
——ジェフリー・チョーサーのイギリス18世紀 原田範行
- (60) フランクリン文学の中世的なるもの
——「富へ至る道」と「免償説教家の話」 佐藤光重
- (79) ジャンヌ、遠き存在
『ジャンヌ・ダルクについての個人的回想録』における啓示と意志
大串尚代
- (97) 古き酒、新しき歌——
ウォルター・ペイターにおける「新しさ」を巡って 石川大智
- (117) 'Until the dragon comes'
——中世詩人としてのJ・R・R・トールキン 高橋勇
- (135) 現代言語学と歴史言語学の橋渡しとしての中世 井上逸兵